

令和4年度 第1回農業大学校外部評価会議 議事録

I 日時：令和4年6月29日（水）14：00～15：50

II 場所：大分県立農業大学校 会議室

III 出席者

外部評価委員

大分県高等学校教育研究会農業部会会長 佐藤智之氏

（久住高原農業高等学校長）

大分県指導農業士会 副会長 佐藤隆幸 氏

地元女性農業者 古庄 京子 氏

大分県立農業大学校同窓会 副会長 湯浅 正徳 氏

大分県中部振興局農山漁村振興長 生野 栄城 氏

豊後大野市農業振興課長 森下志郎氏

*欠席委員：大分県指導農業士会 副会長 三又 勝弘 氏

大分県農業法人協会 会長 増田 徳義 氏

大分県農業協同組合 常務理事 森本 亨 氏

IV 議事

（1）報告事項

令和3年度重点目標等の取り組み結果について（資料P2～P6）

（2）審議事項

令和4年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策について（資料P7～P8）

<委員からの主な質問・意見・要望等>

- ・横幅が1メートル70センチを超えると大型特殊が必要になるが、多くの人は持っていない。早急に手を打たないといけないと危惧している。
- ・農業法人に就職しているのは、就農を目指してか、それとも単に就職としてか。追跡調査はしているか。
- ・やめる人はどのくらいいるのか。
- ・学生を研修で受け入れているが、いろいろな学生がいて、中には、自立できていないと感じる学生もいる。
- ・学生が身につけるべき能力の1つとして、コミュニケーション能力がある。分からないことがあっても聞いてくれないから農業法人等が困っている。分からないことがあれば、きちんと尋ねるといった能力を身につけさせる必要がある。

- 小さなことであっても、テレビや新聞で発信してほしい。SNSもあるが、マスメディアの力は大きい。
- GAPと県GAPの違いはどのようなものか。
- 有機認証についてはどのように考えているか。
- 大型特殊免許は、農耕車限定だけでなく、一般にすることも警察などと協議して考えてもらえないか。
- プロジェクトでの研究成果をどう生かしているのか。
- 学生に対する行政サービスの周知はどのように行っているのか。
- 宇宙港に関連して、農業で何かできないか考えてほしい。宇宙食や宇宙食物の研究をやってみてはどうか。
- 後継者が不足する中で、第三者継承しかないかなと考えている。現在、都市から30代、40代の人が農業をするために移住している。そのような若い人がどのような考えを持っているのか非常に興味がある。

以 上